



性感染症（HIV・AIDSを含む）に関する情報



相談する

【保健師による相談】

・各区保健福祉センターまたは大阪市保健所／電話 06-6647-0957

【外国語によるエイズ相談】

・トリオフォンを利用／電話 06-6647-1019

月曜日～金曜日 英語、中国語、韓国・朝鮮語 (English, Chinese, Korean)

【エイズ専門相談】

・北区保健福祉センター ※予約不要

第1・3水曜日 午後2時～4時

・中央区保健福祉センター ※予約不要

第1金曜日 午後2時30分～4時30分、第3木曜日 午前9時30分～11時30分

・大阪市立総合医療センター、十三市民病院、市立大学医学部附属病院

HIV感染症で上記医療機関にかかっている場合は主治医にご相談ください

相談や検査は名前を言わなくても利用できるよ。

詳しくは大阪市ホームページを見てね。

相談はこちら 検査はこちら



検査に行く

一部の検査の曜日・場所が変わりました。

大阪市内で実施している検査は次のとおりです。HIV検査は原則必須、HIV検査以外は選択です。

予約不要（日曜日を除く）、無料です。検査結果は本人に通知し、電話やメール、郵送による結果通知はしません。

	検査場所・所在地・電話	最寄駅	検査項目	月	火	水	木	金	土	日	備考
区役所（保健福祉センター）	①北区役所 北区扇町2-1-27 電話06-6313-9882	JR環状線 天満駅 または Osaka Metro堺筋線 扇町駅 2-B出口	HIV 梅毒 クラミジア (通常検査)	9:30 ～ 11:00	-	14:00 ～ 15:30	-	9:30 ～ 11:00 第5のみ 18:00 ～ 20:00 も実施	曜日が変わりました		北区：第5金曜日夜間(18:00～20:00) 平成30年6月29日、8月31日、 11月30日、平成31年3月29日 結果は、通常検査は1週間後にお返しします。 即日検査(中央区の第1金曜日)は当日、約2時間後にお返します。 実施日が祝日等(閉庁日)にあたる場合は検査はありません。 HIV・梅毒検査は血液検査、 クラミジアは尿検査です。
	②中央区役所 中央区久太郎町1-2-27 電話06-6267-9882	Osaka Metro堺筋線・中央線 堺筋本町3番出口	※中央区 金曜はHIVのみ (即日検査)	-	9:30～11:00			第1のみ 14:00 ～ 15:00 (HIVのみ)			
	③淀川区役所 淀川区十三東2-3-3 電話06-6308-9882	阪急電鉄 十三駅 東口		14:00 ～ 15:30	9:30 ～ 11:00	-	-	-	-	-	
その他	④大阪検査相談・啓発・支援センター 「chot CAST」(注1) 中央区東心斎橋1-7-30 21心斎橋ビル4階 【問合せ】 火曜日・木曜日・土曜日 電話06-4708-5035 日曜日 電話06-4708-5339 ※いずれも検査実施時間帯のみ	Osaka Metro御堂筋線 心斎橋駅 5または6番出口 (工事中は4番出口) または Osaka Metro堺筋線 長堀橋駅 7番出口	HIV 梅毒 B型肝炎 (通常検査)	-	18:00 ～ 20:00	-	18:00 ～ 20:00	-	-	-	いずれの日も受付は先着50名です。 結果は、通常検査は1週間後、即日検査は当日1～2時間後にお返します。 火曜日…平成30年8月14日 平成31年1月1日 木曜日…平成30年5月3日、 平成31年1月3日、3月21日 土曜日…平成30年5月5日、8月11日、 12月29日 日曜日…平成30年8月12日、12月30日 については、検査を行いません。 HIV・梅毒・B型肝炎検査は全て血液検査です。
			HIV 梅毒 B型肝炎 (即日検査)	-	-	-	-	-	14:00 ～ (13:30から整理券配付) (注2)	14:00 ～ (予約制) (注3)	場所が変わりました

(注1) 待ち人数が多い場合、早めに受付を終了させていただくことがあります。

(注2) 整理券配布開始前に待ち人数が定員に達した場合は、受付をお断りすることがあります。

(注3) 予約は専用サイト <http://www.npo-jhc.com/namba-kensa/> より可能です。予約受付時間は検査実施日の6日前午前0時～当日11時59分です。



◎大阪市以外の検査については「HIV検査・相談マップ」で検索することができます。

病院に行く

・症状がある場合は泌尿器科（男性）、婦人科（女性）、皮膚科、性病科を受診しましょう

・「大阪府医療機関情報システム」では大阪市内の診療所や病院を探ることができます



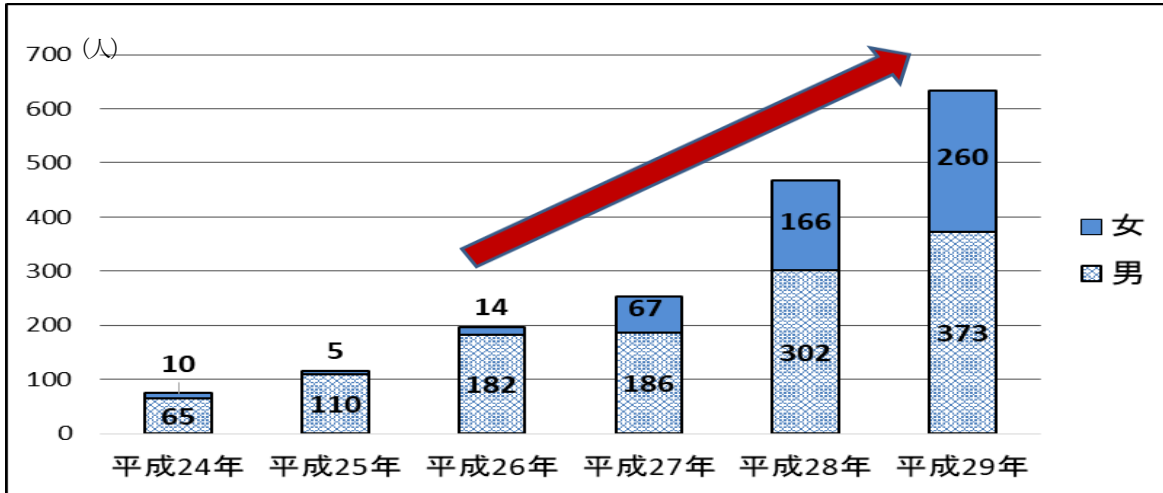
性感染症とは？

性感染症は、性的な接触(他の人の粘膜や皮膚と直接接触すること)によって感染する病気です。HIV 感染症、梅毒、クラミジア感染症、淋菌感染症、B型肝炎などがあります。性感染症の原因となる病原体は、感染している人の精液、膣分泌液等の体液や性器、口、肛門などの粘膜にいて、これらが他の人の粘膜や皮膚に触れることで感染します。

性感染症は誰もがかかる可能性のある病気です。早くに感染に気づき、治療することが大切です。

注目！！ 梅毒が急増しています！

近年、梅毒患者が顕著に増加しています。性別年代別では、20代女性患者の割合が増加しています。



梅毒は昔の病気ではないんだね。気になる人は検査しよう！



【症状】梅毒の症状は、時期によって異なりますが、一旦症状が消失したり、段階的な症状の出方を示さない場合もあります。

第一期(感染して約3週間):感染がおきた部位(陰部、くちびる、口の中、肛門など)に赤いこり、潰瘍(かいよう)

第二期(感染して約3か月):発熱、頭痛、うっすらと赤い発疹、脱毛など

第三期・四期(感染して3年以上):皮膚にゴムのような腫瘍、血管や心臓、脳などに障がい、場合によっては死亡

【特徴】感染して治療しなければ、治りにくくなったり、後遺症が残ったりします。

妊婦に感染があるとお腹の赤ちゃんに症状や障がいが出る場合があります。

【検査と治療】血液をとって検査します。治療は抗生物質を服用します。※検査場所については裏面をご覧ください

若い年代に多い！症状が出にくい！クラミジア感染症

【症状】感染後1~3週間後に、男性は尿道のかゆみ、不快感、排尿時の痛み、女性はおりものの増加、軽い下腹部の痛み。

【特徴】若い年代に多く、ほとんどの人は症状がありません。のどにも感染します。不妊症の原因となることがあります。

【検査と治療】尿や分泌液をとって検査します。治療は抗生物質を服用します。

症状がないから大丈夫…？

梅毒やクラミジア感染症は、感染していても症状がないことがあり、症状がなくてもパートナーに感染させる可能性があります。自分が治ってもパートナーが感染していれば、繰り返し感染するので、パートナーと一緒に検査や治療を受けることが大切です。

心配だけれど、どうしたらいいの？

裏面に相談、検査、受診に関する情報が載っています。ひとりで悩まず、気軽に相談や検査を利用してくださいね。